

令和7年度孤立集落状況把握・支援訓練 (大阪府千早赤阪村・内閣府)

実施報告書 (概要版)

大阪府千早赤阪村について

- 大阪府千早赤阪村は、大阪府唯一の村であり、人口は令和7年3月時点で4,612人。
大阪府の南東部に位置し、奈良県に隣接する。
- 村の約70%~80%が山林であるとともに、村域を南北に流れる千早川等の4本の河川のため、東西方向の交通路は極めて限定される。
- 楠木正成生誕地として知られる。
村内の棚田や金剛山が観光やハイキングのスポットとして人気を集めている。
- 年次で総合防災訓練を実施しているほか、13の集落(自治組織)ごとに自主防災会を設置している。

主な被害想定

- 急峻な地形から、台風や集中豪雨による河川の氾濫、浸水、土砂災害等の被害が想定され、中山間部に位置する集落は道路が通行止めになる可能性がある。
- 南海トラフ地震が発生した場合には、震度5強~6弱の揺れが想定される。



訓練概要

- 訓練想定：大雨により土中雨量が増加した状態での巨大地震による、複数の孤立集落の発生
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年9月25日（木）14:00～16:30
【孤立集落状況把握・支援訓練】令和7年11月9日（日）9:00～12:00
【訓練実施後WS】 令和7年11月9日（日）12:00～12:30
- 主催：千早赤阪村、大阪府
- アドバイザー：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 松川杏寧准教授
- 参加者数：約150名
- 参加機関：地区住民、千早赤阪村消防団、大阪府警察、大阪南消防組合、陸上自衛隊、千早赤阪村社会福祉協議会、村内ボランティア団体
- 訓練項目：情報伝達訓練、避難・避難誘導訓練、避難所開設訓練、救助・救出訓練、初期消火訓練、ドローンによる物資輸送訓練、炊き出し訓練
- 訓練の特色：訓練は2部構成とし、各地区で実施する安否確認・情報伝達・避難訓練の後、本会場にてその他の訓練を実施した
千早赤阪村と大阪府が連携し、物流ドローンによる孤立地域への物資輸送ルートを検証した。

訓練の成果

【成果】

- 悪天候にも関わらず、訓練は概ね予定どおり実施され、100名を超える地域住民の参加を得ることができた。
- 事前に住民とよく協議・説明されていたことで、訓練の目的や狙いが参加住民に浸透していた。
- 情報伝達、避難所、ドローンによる物資輸送を実動訓練で検証したことで、具体的な実務課題が抽出された。
- 今回の訓練を受け、来年度、村内の他地区にて同様の訓練を実施することとなった。
- 訓練に参加した1地区が、地区内の全世帯を対象とした個別避難計画を作成することとなった。

【課題】

- ドローンの飛行ルートについて、道路や民家上空を飛行するルートだったため、飛行時の安全確保について引き続き検討する必要がある。

9月25日(木) 14:00～16:30 訓練実施前ワークショップ

- 個別避難計画作成推進のため、模擬的な地域調整会議を実施した。
- 各班で村職員がファシリテーターとなって、具体的な対応方針について議論した。

▼松川アドバイザーによる講義



▼地域調整会議



11月9日(日) 9:00～12:00 孤立集落状況把握・支援訓練

- 防災行政無線による一斉放送及び消防車を活用した巡回広報により、土砂崩れの発生を伝達した。
- 各集落の避難状況・被害情報を防災無線にて報告した。
- 避難行動要支援者の避難を車等で補助しながら、各集落から主会場に移動をした。

▼消防車による巡回広報



▼防災行政無線による避難状況報告



▼集会所に参集した避難者



▼使用した事業用ドローン



▼自衛隊機材の体験



▼炊き出し訓練



11月9日(日) 訓練実施後ワークショップ

- 訓練の振り返りをして、今後、それぞれが取り組みたいことを検討し共有した。
- 要配慮者等の安否確認に関し、時間帯による家族の在・不在や住居の立地条件を十分に考慮した実効性ある体制を構築する必要があるという意見が挙がった。

▼松川アドバイザーによるコメント



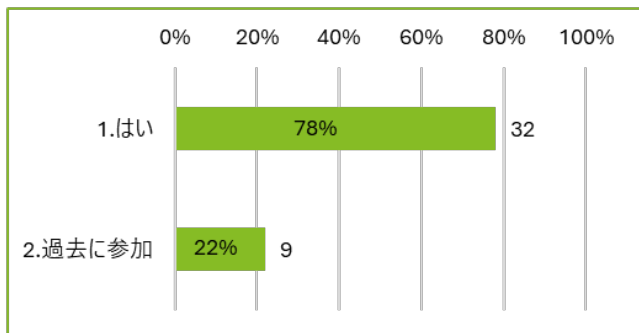
▼振り返りのワーク



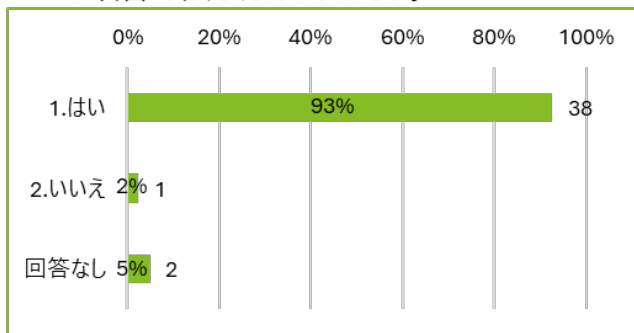
アンケート結果

回答数：41

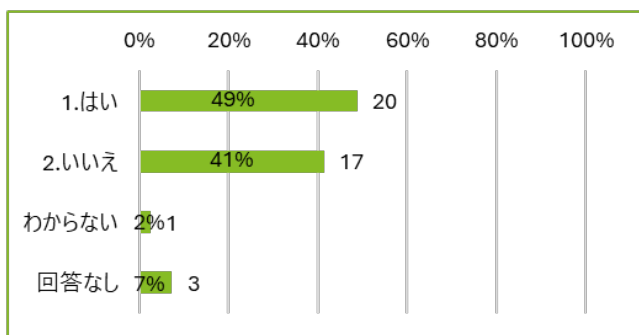
1. 村の防災訓練に参加したのは初めてですか。



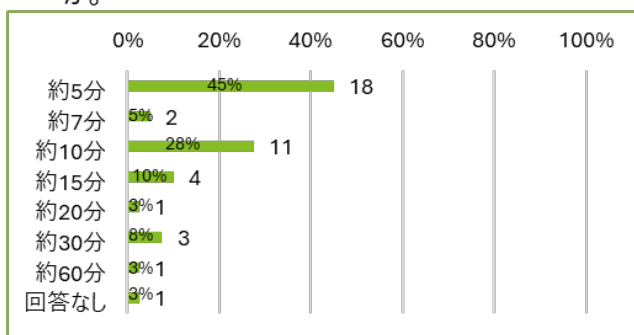
2. 今回訓練に参加し、災害に対する備えの課題や改善方法が分かりましたか。



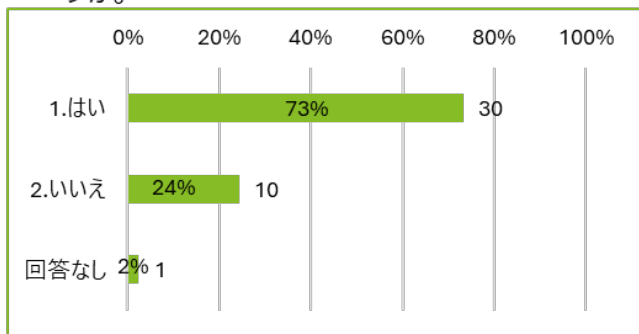
3. 避難経路に危険な個所はありましたか。



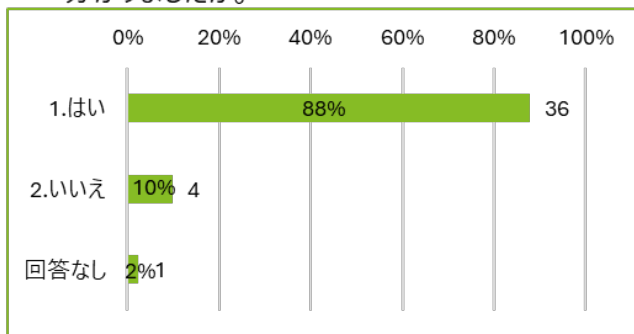
4. 自宅等から避難先まで、何分くらいかかりましたか。



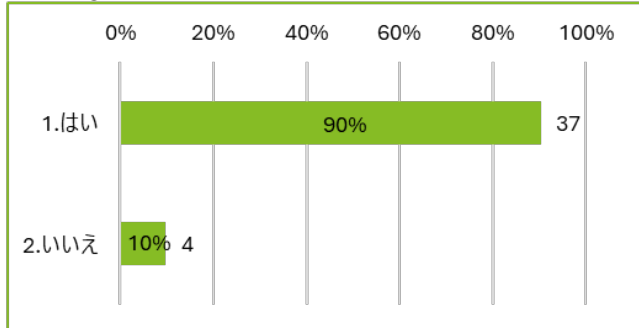
5. あなたの周囲や近所に、自力で避難することが難しく、周囲の支援が必要な方はいらっしゃいますか。



6. 地震や水害などの災害が発生した場合、地区で安否確認や救助の要請をどのように行うのが分かりましたか。



7. 地震や大雨などの災害が発生した際、お住まいの地区にどのような危険があるか、知っていますか。



8. 自宅に3日以上の備蓄品(食品、飲料水、医薬品、日用品など)はありますか。

